

亀山市名誉市民

彫刻家
中村 晋也
Shinya Nakamura

作品紹介

ふるさとあい

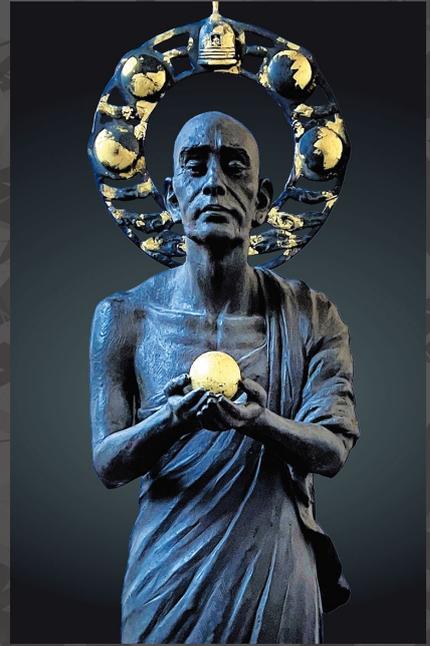
Vol. 113

「阿僧伽菩薩」

平成22(2010)年

阿僧伽(アサンガ)は4世紀から5世紀の頃、パキスタンのペシャワール近郊で生まれたと言われています。弟の伐蘇畔度(ヴァスバンドゥ)と共に大乘仏教の思想を深め、「空」の境地や「唯識論」を確立しました。

薬師寺大講堂の弥勒如来の両脇侍として奉納された同名の菩薩像は3m近い大きさですが、この像は高さ160cmで光背があり、手には弥勒菩薩がいるという兜率天を暗示した宝珠を持っています。ブロンズ像は長野県の蓼科山聖光寺で開眼法要され、水晶の宝珠を捧げ持っています。この秋、日展にこの原型が展示されます。



(高さ)160cm × (幅)35cm × (奥行)54cm
中村晋也美術館

特別協力 公益財団法人 中村晋也美術館

<https://www.ne.jp/asahi/musee/nakamura/>



まちかど
キラリ

佐野 勝也さん
(小川町)



亀山JAZZフェスティバル実行委員会委員長。学生時代、先輩の演奏を見て音楽バンドの魅力にひかれ、自身もドラマーとしてバンド活動を始める。就職後、趣味として演奏を続けていた中、ジャズイベントを亀山で開催しようと音楽好きのメンバー7人で実行委員会を立ち上げ、市内で初となる「亀山JAZZフェスティバル」の開催に奮闘。

JAZZで紡ぐ「夢を未来に」

異なるジャンルの音楽が融合するジャズ。9月27日(土)・28日(日)に初めて開催した「亀山JAZZフェスティバル」について佐野さんは、「県内外のジャズフェスを視察したり、色違いのポロシャツやTシャツを制作・販売したりして、イベントを盛り上げようと実行委員会で積極的なPR活動を行いました。メイン会場の市文化会館屋外ステージは、ほぼ自分たちの手作りです」と話します。

当日は、東京など全国からジャズやポップスなどさまざまなジャンルの60組が出演。身近な場所でジャズを体感していただこうと、市文化会館のほか、市立図書館や関中学校など8会場で開催。「会場の規模や場所によって演奏曲を選定するなど、子どもから高齢者まで楽しめる内容にしました」と続けます。

フェスのテーマは「夢を未来に」。「音楽を楽しむだけのイベントではなく、ジャズ

フェスを訪れた人が音楽に興味を持ち、音楽を始めるきっかけづくりや、プロの演奏者からアドバイスがもらえる機会を設け、夢の後押しができるよう工夫しました。今回参加した人たちが、将来、亀山で演奏してくれるのが夢です」と佐野さん。

「いつかは東町商店街を歩行者天国にして、食べて、飲んで、笑いながらいろいろなジャンルの音楽を聴けるようなイベントにしていきたい。県内外からたくさんの方がジャズを楽しむために亀山を訪れてほしい」。メンバーの夢は膨らみます。次回の開催に向けた準備は、もう始まっています。

